

2024年度 JICA筑波 大学生・大学院生向け国際協力理解講座(案)  
プログラムNo2：小規模農家の生計向上のための野菜生産技術コース プログラム概要票

別紙①-2

1. 基本情報 \*講師や諸般の都合により、プログラム内容が変更になることもあります。予めご了承願います。

1) 研修コース名：	小規模農家の生計向上のための野菜生産技術
2) 担当者名：	篠原 美恵子（研修コース委託先業務総括：苗代氏）
3) 期間（日数）：	2024年7月22日（月）～2024年7月26日（金）
4) 定員：	最大受入人数4人
5) 言語：	英語（実施内容を英語実施のため理解できること）※目安（TOEIC600点、TOEFL510点「CBT180点/iBT64点」、IELTS5.0程度）
6) 主な対象学生：	野菜栽培分野に興味・関心のある生物学系、農学系、開発学（但し、農業に係るフィールドを基礎）関係の3年生以上及び大学院生が望ましい。
7) 研修員の出身国：	カンボジア、ラオス、ネパール、フィジー、パプアニューギニア、トンガ、エスワティニ

2. コンテンツ

本プログラムの目的	講義及び実習を通じて、主要な野菜の栽培技術等の基本を理解する。
-----------	---------------------------------

日程表

No	日付	曜日	時間	テーマ	形態	概要（狙い）
1	2024/7/22	月	09:15-09:25	プログラムオリエンテーション		関係者紹介、プログラム説明、諸連絡等
			09:30-12:00	トマト採種実習/摘果、採種、発酵準備	実習	トマトの採種技術を実習する。種子の抽出方法、発酵の過程を学ぶ。
			13:30-16:00	病原菌の検鏡	実習	病害虫専門講師の指導の下、顕微鏡を用いて病害同定ための検体の作成方法、観察手法、同定のポイントについて学ぶ。
2	2024/7/23	火	09:30-12:00	練床技術（作成方法と育苗）	実習	日本がかつて利用された育苗技術の実習。特別な資材を用いない途上国で応用可能な有用技術を学ぶ。
			13:30-16:00	直売所の展開計画から運営の実際	見学	農協の地物野菜直売所を見学する。差別化された販売戦略と経営、出荷農家との販売契約、陳列・集客手法を学ぶ。
3	2024/7/24	水	09:30-12:00	混作による病虫害防除（観察）	実習	違う作物で外周を取り囲み天敵を誘引して害虫被害を軽減するなど自然や生物生態を利用した病虫害防除法を学び、実証例を観察する。
			13:30-16:00	トマト種子調整	実習	採種後処理したトマト種子の選別・調整を実習する。
			16:15-16:45	中間レビュー		中間時プログラムの振り返り（受講者から所感、質疑含め）。
4	2024/7/25	木	09:30-12:00	直売実習 1/3 説明・準備（3グループ、販売品目確認）。	実習	JA直売所見学で学んだ農家への販売イニシアティブの提供や消費者への安全で新鮮な地元野菜の販売方法について話し合う。
			13:30-16:00	直売実習 2/3 準備（価格調査、販売促進方法検討）	実習	JAの直売所の経営や土浦市場の価格調査を基に直販演習に向けた価格設定や商品陳列、ポップのデザイン・設置方法などを話し合う。
5	2024/7/26	金	09:30-12:00	仮）JICA協力プログラム：ちびっ子博士（11:00-12:00）/09:30-11:00 準備	実習	JICA筑波の公開イベント「ちびっ子博士」で来場した子供たちへのスイカの食味や糖度を調べる「スイカ博士になろう」の準備と補助をする。
			13:30-16:00	個別実験管理 08	実習	研修員が自国の職場で直面している問題を題材に実施している栽培実験の概要を理解し、実験データ収集や栽培管理を体験する。
			16:00-16:30	報告発表		国際協力理解講座のプログラムを体験した結果を発表する。

3. 留意事項

<ul style="list-style-type: none"><li>・特に朝の開始は時間厳守とします。</li><li>・日程については、今後の研修日程の都合・天候対応などで変更の可能性があります。</li><li>・圃場での実験・実習がありますので、身軽で汚れても良い服装と靴（作業着及び長靴等）を準備してください。また、講義の日でも作業が出来る服装をお願いします。</li><li>・日没まで作業をしていただくこともあります。</li></ul>
---

4. 学生さんへ一言

一日の実習・講義終了後には、研修員と一緒に圃場をまわってください。研修員が取り組んでいる実習について説明してくれますので、意見交換など交流を図っていただければと思います。
---

5. その他

講座最終日（予定）には、各受講生には、プログラム中の学びについて研修員等に対し、プレゼンテーション（英語）をしていただきます。
---